



発行 大阪乾癬患者友の会(梯の会)
編集 友の会編集委員

特集

◎第24回学習懇談会

(乾癬学習懇談会in和歌山)



・・・ Index ・・・

・ご挨拶 岡田	P1	・「乾癬と向き合って」	P6
・事業報告・予定	P2	辻岡馨先生	
・会計報告	P3	・「乾癬と私」加納	P14
・和歌山学習会	P4	・「ターゲット型光線治療」	
・紀三井寺散策・女子会	P5	横川真紀先生	P15
報告		・お知らせなど	P18

平成23年度「挨拶 より充実した医療・交流の場へ

会長 岡田

会員の皆様新年あけましておめでとうございます。平成二十三年度の始まりにあたってのご挨拶をさせていただきます。

三重の会への参加など機会を増やしてきてそれなりに交流を増やすことができていると思います。

昨年は日本皮膚科学会の総会が大阪にて開催されたのにあわせ春の学習会をその隣接する住友病院の講堂をお借りして多くの先端の研究をされている先生方にご参加いただきました。また秋には和歌山医科大学のご協力により和歌山市にて学習会を開催することができました。さらに九月には日本乾癬学会が山口県宇部市にて開催されたのにあわせて日本乾癬患者連合会として学習会を開催し、中国地方に患者会発足の種をまくことができました。会員の皆様のご協力のもと地道な活動を行うことにより全国に患者の仲間を増やすことができるようになったとともに、一昨年の新薬承認の署名活動その他を通じ学会や一般社会にも徐々に認知度を高めることができるようになってきたと思っています。

今後と同様の活動をなお一層充実させた形で開催させていこうと予定しています。そのためには非皆様の積極的な行事へのご参加をよろしく願います。年初の平成二十三年度は二年度の活動を継続し、さらに会の活動を拡大していくための項目を重点目標として会の運営を行いたいと思います。

存在をさらに知っていただいております。学習懇談会の開催を大阪周辺だけでなく近畿圏に広げていき、会の行事に参加が困難であった皆様にも情報と交流の場を提供するような機会を作っていきます。二十三年度は今までに学習会を開催していない府県にて秋の開催を計画したいと考えています。

①内外での交流の拡大

交流行事の開催、地区交流会の拡大、全国の患者会との活動の拡大を図る。他会との関係等の見直しも必要ですが、回数が増える中で交流を深める、多くものを得られるようにしたいです。

③定例行事の運営

定例総会、会報、幹事会その他恒例の行事を充実した内容で運営します。恒例の学習懇談会に関しては講師を最近の会のように医師に限らず医療関係者に広げ、また毎回二題以上の講演を行って参加者の様々なニーズに添えていきたいと考えています。

②近畿地方での会員の発掘

当会は発足の経緯が阪大を中心に活動していますが、阪大および関連病院以外の医療機関に通院されている皆様に情報提供が十分でないところがあります。引き続き近隣の医大の医師に講演等のご協力をいただく中、患者会の

④交流行事の充実

昨年にも増して交流行事の充実に努力したいと思えます。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

⑤乾癬学会に伴って学習会と交流行事の開催

多岐にわたる活動を行うために多くの幹事ならびに協力者が必要です。折につけて皆様にお願ひしてまいります。会の運営にも積極的にご参加頂きますようお願いいたします。特に二十代三十代の方が不足していますのでよろしくお願ひいたします。